

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和4年度第6回戸田市外部評価委員会
開催日時	令和4年9月20日(火)午前10時00分 ~ 午前11時06分
開催方法	Web会議
委員長等氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基
出席者氏名 (委員)	委員 興松 敬史 委員 石田 真由美 委員 宮崎 仁美 委員 芳賀 良 委員 長谷川 孝雄
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	無し
事務局	甲原課長 野本主任
議 題	(1) 答申書(案)について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	次第及びタイムテーブル 【資料1】答申書(案) 【資料2】答申書別紙(案) 【資料3】今後のスケジュールについて

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委員長	<p>1 開 会</p> <p>○委員長挨拶</p> <p>本日の目的は、合議において、本委員会としての答申をまとめていくことである。検討すべき項目は、答申の原案や各施策3項目ずつの合計18項目の委員会の評価について審議を予定している。非常にタイトである、円滑な進行に協力いただきたい。</p>
事務局	<p>2 議 事</p> <p>(1) 答申書(案)について</p> <p>資料1及び資料2に基づき、説明を行った。</p>
委員長	<p>意見や質問等はあるか。</p>
委員長	<p>特になければ、私から確認したい。資料2の様式だが、それぞれの施策に丸数字レベルで意見が並んでいるが、今後、整理して最終的にまとめていくのか。それとも、丸数字レベルは個々の委員の意見として、そのまま載せる、また、増加・継続・縮小などの評価結果の分布がわかるような形で答申書をまとめていくのか。委員会の評価だけを答申書に記載していくのかについて、確認したい。</p>
事務局	<p>今現在は、各委員の皆様からのコメントをそのまま記載をしているところであり、事務局では編集をせずに掲載している。委員会の評価として、全体をまとめる際に、内容を編集するなど、外部評価委員会として、望ましい形があれば、事務局にて素案の作成など対応したい。</p>
委員長	<p>そういった点も視野に置いているということである。本日は時間も限られていることから深く掘り下げず、あくまで委員会として評価を取りまとめていくということに主眼を置きたいと考えている。</p> <p>続いて、資料2の各施策の委員会の評価欄について審議していく。</p> <p>それぞれの施策の時間が20分程度であるため各項目については、5分間</p>

を目途に「委員会の評価」を決定できればと考えている。

資料5 ページ 事務事業の妥当性について、委員会としての集計結果は「A 妥当である」が4件と「B 改善(小)」が1件、「C 改善(大)」が2件となっている。「外部評価委員からの主な意見」も含めて委員会としてどのような評価とするか、各委員の意見を聴きたいところだが、限られた時間の中では、まとまらない可能性があるため、委員会の評価の決め方について、提案したい。

唯一の正解はないものであるが、これまでの本市の外部評価委員会では委員会としての評価をまとめることはしていなかったが、今年度は外部評価委員会として、合議により評価をまとめた上で、市長に対して答申する予定である。

例えば、【資料2】答申書別紙(案)5ページの記載では、かなり意見が分かれているが、全員の評価結果が完全に一致している場合は、それで良いかを確認したい。18項目中意見が一致している項目は、2項目のみであり、ほとんどの項目では、評価結果が別れている。本来であれば、各委員から評価結果と理由を聞いた上で意見の変更等もしながら丁寧な議論を重ねて合意形成を図っていくが、かなりの時間を要してしまう。

提案として、事務事業の妥当性でいえば、A、B、C、Dの4段階評価で、それぞれに配点をしていく。Aが4点、Bが3点、Cが2点、Dが1点と配点をして加重平均をとる。加重平均の値がもっとも近い評価結果をたたき台として示し、それで良いのかを確認していく。あくまでも、たたき台として提示をして、違和感がなければそれを委員会の評価とし、意見があれば発言していただいた内容について議論を経て、まとめていくことを考えている。

もちろん、シートに書かれた評価から変更しても構わない。例えば、「A 妥当である」と評価結果をつけた場合でも、他の意見を踏まえた結果、妥当ではなく、改善(小)に評価結果を変更するということも当然にあり、その場合は申し出ていただきたい。

誤解がないように説明するが、配点については、人に対して配点するわけではない。委員長は2倍の得点になるということではなく、A、B、C、Dに対し配点は4、3、2、1となる。3段階評価の項目の場合は、3、2、1点と配点していく。5ページでいうと、Aが4件、Bが1件、Cが2件、

	<p>Dが0件に配点したのち、評価者の人数で割ると、3.29となる。3に近いことから評価を「B改善(小)」とする。この結果を基に委員会の評価として妥当であるかについて、各委員から意見いただいた上で、決定していくというものである。</p> <p>今年度は、このような進め方としたいが、代替案等も含め、意見や質問はあるか。</p>
委員一同	意見なし
委員長	<p>< 施策3 ></p> <p>事務事業の妥当性</p> <p>評価結果は、A：4件、B：1件、C：2件、加重平均：3.29であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p> <p>なお、「C改善(大)」と評価した意見等は、各項目欄下段の「外部評価委員の主な意見」欄に記載していくものである。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：1件、B：4件、C：2件、加重平均：1.85であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>資源の方向性(予算)</p> <p>評価結果は、増加：1件、維持：5件、縮小：0件である。</p> <p>なお、1人は評価困難であったため、合計6人で計算する。</p> <p>加重平均：2.17であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認

<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：2件、維持：4件、縮小：0件、加重平均：2.33 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で、施策3を終了する。 なお、各委員から文章で回答いただいた意見や提案については、今後、事務局と相談し、どのような形で答申書に反映していくかを次回の委員会までに整理する。</p>
<p>委員長</p>	<p>< 施策5 > 事務事業の妥当性 評価結果は、A：3件、B：3件、C：1件、D：0件、加重平均： 3.29であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>施策指標の妥当性 評価結果は、A：2件、B：4件、C：1件、加重平均：2.14である ことから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：1件、維持：5件、縮小：0件、加重平均：2.17 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：1件、維持：5件、縮小：0件、加重平均：2.17</p>

	<p>であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
	<p>< 施策 7 > 事務事業の妥当性</p>
委員長	<p>評価結果は、A : 2 件、B : 3 件、C : 2 件、D : 0 件、加重平均 : 3 . 0 0 であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	承認
	<p>施策指標の妥当性</p>
委員長	<p>評価結果は、A : 2 件、B : 4 件、C : 1 件、加重平均 : 2 . 1 4 であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	承認
	<p>資源の方向性(予算)</p>
委員長	<p>評価結果は、増加 : 1 件、維持 : 4 件、縮小 : 1 件、加重平均 : 2 . 0 0 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
	<p>資源の方向性(人員)</p>
委員長	<p>評価結果は、増加 : 0 件、維持 : 6 件、縮小 : 0 件、加重平均 : 2 . 0 0 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
	<p>< 施策 1 1 > 事務事業の妥当性</p>
委員長	<p>評価結果は、A : 2 件、B : 3 件、C : 2 件、D : 0 件、加重平均 :</p>

委員一同	<p>3.00であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p> <p>承認</p>
委員長	<p>施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：1件、B：5件、C：1件、加重平均：2.00であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	<p>承認</p> <p>資源の方向性(予算)</p>
委員長	<p>評価結果は、増加：5件、維持：1件、縮小：0件、加重平均：2.83であることから、委員会の評価を「増加」として良いか。</p>
委員一同	<p>承認</p> <p>資源の方向性(人員)</p>
委員長	<p>評価結果は、増加：4件、維持：2件、縮小：0件、加重平均：2.67であり、「増加」と「維持」の判断を迷うところであるが、いかがか。</p>
委員	<p>私は、維持と評価したがその理由としては、全体の負荷量は分からないが事務事業の件数が多く、ヒアリングの際に、統合や見直しなど改善しなければならないという話であった。それを加味すると、増加ではなく見直しの必要性があるのではないかと感じたことから維持とした。</p>
委員長	<p>先程、申し上げたように、当初の評価結果から変更する場合は申し出ていただきたい。また、留意点として、答申書を市長に渡したのち、担当部局が外部評価委員会の評価をどのように受け取るかについても、少し念頭に入れる必要がある。仮に、外部評価委員会の評価を「増加」とした場合、それを一つの根拠にして財政当局に予算要求することもある。それを推奨するのであれば、良いが、それが本意ではないと考える場合、検討する必要がある。同様に、事務事業の妥当性において、委員会の評価を「A妥当である」と</p>

	<p>した場合、担当部局としては改善する必要はないと受け取ってしまう可能性があることも視野に入れつつ検討いただきたい。</p> <p>また、委員会の評価について事務局は、どのように考えるか。</p>
事務局	<p>事務局から見ると、増加4件、維持2件の評価、加重平均2.67という数値、外部評価委員の皆様の意見でも予算と同様に人も比例して増加すべきであることや今後の高齢者サービスの必要性などを踏まえ、増加ではないかと考える。</p>
委員長	<p>計算した結果、同様に判断しにくい項目がいくつかあり、それらと整合性を取る必要もあるかもしれないので、ここで時間を多分取るのではなく、一度保留とし、全体的に評価を進めてから、戻る形としたい。</p> <p>< 施策19 ></p> <p>事務事業の妥当性</p>
委員長	<p>評価結果は、A：5件、B：1件、C：1件、D：0件、加重平均：3.57であることから、「A妥当である」と「B改善(小)」についていかがか。</p>
委員	<p>施策3の事務事業の妥当性の数値に似ている部分がある。加重平均が3.29で、3としていた。件数だけで言えば、Aが1番多いが、改善点が指摘されている面もあり、評価としてはBにした。今回の場合もAが5件と多いが、改善点がないわけではなく、Aというよりは、「B改善(小)」に近いのではないかと感じたところである。</p>
委員長	<p>改善を指摘している意見として、1人は改善(大)としており、全く改善点がないわけではない。「A妥当である」というのは、少なくとも7人中6人以上が判断した場合であると考え。今回は2人が改善を指摘していることを踏まえると「A妥当である」としては評価しにくいということである。</p>
委員	<p>加重平均の値を記載する方法で、Aに近いBやBに近いAということが分かるようにしてはどうか。理由として、事務事業を個々で見ると、足りてい</p>

	<p>る事業もあれば、不足と感ずる事業もあると感じたが、施策を構成する事務事業についての全体的な点でしか評価ができないため、評価とともに、外部評価委員の意見を評価した理由として記載することで、委員それぞれの意見も反映していくものである。答申の仕方の話になってしまうが、さきほど委員から意見があったように加重平均で四捨五入した数値だけで評価を決めることが難しい部分もあることから、委員それぞれの評価理由を外部評価委員の意見欄などに記載するような方法は検討できないか。</p>
委員長	<p>具体的には、どのような点を修正したらよいという考えはあるか。</p>
委員	<p>委員会の評価にA、B、C、Dを付ける際に、加重平均の値を記載し、その値や評価に至った理由を外部評価委員会としての意見として記載するという形である。</p>
委員長	<p>最初に申し上げたとおり、あくまでも、たたき台として機械的に算出した加重平均の値について、各委員からの意見等を踏まえて議論を行い、数値ではなく意見をまとめていくという方法である。評価の決定過程については、会議録として残るため、それを見ることで市民等にも伝えることが可能であると考えている。</p>
委員	<p>この提案については、委員の皆さんがテンプレートを使った方法で行っていくべきであるとするか、それとも、委員会の評価としてまとめた評価に、委員それぞれの意見についても外部評価委員会の意見として付していくと考えるかということである。</p>
委員長	<p>委員会としての評価を一本化することを原則とし、それに整合する形で委員それぞれの文書化された意見や提案内容と委員会の評価がミスマッチしては良くないので、文案を考える際に注意する必要がある。例えば、26ページの事務事業の妥当性を「B改善(小)」にした場合、外部評価委員の意見欄で「妥当と判断いたします」という記載が冒頭にあり、委員会の評価「B改善(小)」とミスマッチが起こっていると受け止めてしまうことも想定しつつ、丁寧に文章と委員会の評価が整合するような形にまとめていく</p>

事務局	<p>必要があると考える。</p> <p>その点を踏まえながら、事務局において文案を考えていただきたい。</p> <p>委員の発言も踏まえ、Aに近いBやBに近いAなど、点数化すると明確に分かれてしまうところもある。点数については、先ほどの委員長の説明のとおり議論のたたき台として設定した上で、委員会としてどのようにするかというところである。例えば、全体として「B改善(小)」になった時に、その理由については、現在、外部評価委員の主な意見欄に記載しているところだが、委員それぞれの評価結果では「A妥当である」が多い。各委員と委員会としての評価が異なる理由を補足した事務局案を作成したいと考えている。これにより、委員会の評価と委員それぞれの意見との整合について、市民や皆様に理解いただけるような形になるのでないかと考えている。</p>
委員長	<p>引き続き、この点については、いただいた意見も踏まえつつ、次回の委員会までの間で、検討していきたい。</p> <p>話は戻り、26ページの施策19 事務事業の妥当性については委員会の評価として「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>施策指標の妥当性</p> <p>評価結果は、A：4件、B：3件、C：0件、加重平均：2.57であることから、委員会の評価を「B改善(小)」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>資源の方向性(予算)</p> <p>評価結果は、増加：3件、維持：3件、縮小：0件、加重平均：2.50であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認

<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：2件、維持：4件、縮小：0件、加重平均：2.33 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p><施策30> 事務事業の妥当性 評価結果は、A：2件、B：3件、C：1件、D：0件、加重平均： 3.17であることから、委員会の評価を「B改善（小）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>施策指標の妥当性 評価結果は、A：1件、B：3件、C：3件、加重平均：1.71である ことから、委員会の評価を「C改善（大）」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（予算） 評価結果は、増加：1件、維持：4件、縮小：1件、加重平均：2.00 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>資源の方向性（人員） 評価結果は、増加：0件、維持：6件、縮小：0件、加重平均：2.00 であることから、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>承認</p>
<p>委員長</p>	<p>以上で、保留にした項目以外は終了となる。</p>

委員	<p>保留していた施策11の 資源の方向性(人員)については、加重平均：2.67であったため、「増加」か「維持」となるがいかがか。</p> <p>内部評価はBと判断しており、人員については、今後の令和7年度まで、ほとんど変わる予定はない。これを基準に考えるならば、増加の場合、これよりも増やすという考え方になってしまい、それが外部評価委員会としての評価で良いのかと考えてしまう。さらにヒアリングの中では、事務事業が多いという印象があり、予算をつけたとしても人員については効率化により現状維持ができるものとする。確かに点数の上では、「増加」となってしまふ。</p>
委員	<p>介護保険の支給拡大等も踏まえて予算が拡大していくことは仕方ないが、人件費の増加については、委員の意見のとおり人件費の効率化を図るという意図であれば、この項目については「維持」というまとめ方で良いと考える。予算の増加についても人件費分に充てるものではないという意味合いを示すことにもつながるものとする。</p>
委員長	<p>改めて確認するが、施策11の 資源の方向性(人員)については、委員会の評価を「維持」として良いか。</p>
委員一同	承認
委員長	<p>以上、「議題(1)答申書(案)について」を終了とするが、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>確認となるが、先ほどの 資源の方向性(人員)の評価については、評価を変更するという事で良いか。個人の評価はこのままで、委員会の評価は「維持」ということか。</p>
委員	<p>個人の評価を「増加」から「維持」に変更する。</p> <p>(2)今後のスケジュールについて</p>

事務局	資料3に基づき、説明を行った。
委員長	意見や質問等はないか。
委員一同	なし
委員長	以上、「(2)今後のスケジュールについて」を終了とする。
事務局	(3)その他 次回の第7回外部評価委員会まで日数が限られていることから、最終的な確認については、委員長に一任いたしたいと考えている。
委員長	最終的な確認について委員長一任としてはいかがかという提案がなされた点について、意見や質問等はないか。
委員一同	なし
	3 閉 会